

答辭

志し、應答  
 此の如く、其の過去とて同致せる事  
 活き様なり。是れ一は、標相に思ひを  
 變轉する事、二は、祖國に米英の對立敷  
 到り、三は、我精銳の軍事に向かう  
 故なくとも、編むる敵、機軸を叩けし  
 タハ、罪攻を爲さるべし。故に、  
 周戰佳敷月、大東王の殆んと全域  
 の敗北、處處に地城あり。また、  
 の中なる勢日、急しく、北邊へ更に長  
 征し、敵の咽喉に迫るに至りし。  
 此の祖國の繁盛態勢、即ち是れ我が  
 止まらず、其の勢、平められ、事業復た鼓  
 を出すに至る。夫れは、つゝ、鎮代軍服、等々  
 國の祖國防衛の第一線に立ち入りたる者  
 ます。我々現今の「史的事態」に直面し  
 祖國の為生命も賭して奮闘得べき機會  
 「愚い」とも、「最たる危機感」を感じたりが  
 又今日、是れ此の危急ある教務上  
 在詎に果さんとする則ち甚しき事なり。  
 今日卒業する學子、我々が本學年の過去

一の芥原に直面する時であらうと云ふれども、  
 然し今日本軍が持つ傳統を保ち、益々  
 獨自の事業を振興する為には本國を  
 在校學生諸君の自覺、暴行行動  
 に倣ふこと大なるものあります。即ちこれに  
 學生諸君の骨やうな頭腦力健全なる  
 思想に及び熱情の集積の上實現さ  
 れざるであらうます。  
 諸君は多數の同輩に鮮血を流し  
 病魔を克服して祖國の爲に奮闘  
 してある時安閑して學生である社會  
 的特權意識の中に感得し自己生活  
 手段以外の何等の意を致さず學生を  
 活の中に認めぬならぬれば發奮の  
 同輩代表者として地位を私し  
 自己の利益に虚榮心の手段として  
 此れを濫用するものとしてこれに當り  
 社會的良心を有する現代青年の  
 の唾棄に値する態度であらうます。  
 かゝる如き學生の社會に於ける前途  
 は勿論何等の光明も認められ  
 ないであらうます。  
 故に我々は諸君が率先して明朗な  
 健全な學生風を紀元の花の如く

かゝることには、單に本學の前途に光  
明を與へるに留まらず、實に諸君を  
學生として國家社會に育つて我  
國を益す所以あり、更に又是れ日  
諸君將來の發展の爲にも、欲  
可からざる要件であります。即ち  
の如き學生は諸君がなすには社  
會の最も要求する學生に成る事と  
他をいふからぬであります。

我々も又諸君の先輩たちとて自  
覺して戦線に銃後を全力を以て  
奮闘する覺悟がありませう。

今後我々は習得せる知識を益々  
啓發し人格を陶冶し祖國を強  
ふに對する愛を發往の精神を以て  
之を革新の時代に處せんとするもの  
をあります。

我々は我が民族の世界史的使命  
を自覺し創造的知性として

新しき世界へ突進せし期に在り  
我は又確固なる日本精神を持た  
強健なる祖國の防人として

皇國の發展の爲に身命を捧げ  
奮闘せよとの御見掛け  
終りに臨み我々は諸先生の御懇意

御指導の對し操返深き感謝  
 の意を表すと共に我々卒業後  
 も更におゝ御指導承らんことを

又、在國諸君、御健康に注意  
され、益々御勉勵を望みます。

平素、晩は我々ともに社会に  
 活躍ありと云ふ新思想あり

昭和七年九月二十五日

辛業代表

宗像 齋

（翻刻文）

本日卒業式に当り、我々在学中種々御指導を戴きました本学諸先生に対し、衷心より感謝の意を表します。

此の紀尾井の森に過去五ヶ年間、我々が学生生活が続けて居る間に、世界の様相は急激なる変転を示し、遂に祖国は米英に対し交戦するに到り、然も我が精鋭無比の皇軍の向ふところ敵なく、旦に不沈と称する敵の艦艦を叩き、夕に難攻不落と云はれる敵壘を屠り、開戦後数ヶ月にして大東亜の殆んど全域を戡定し、この広大な地域から三百年に亘る敵の牢乎たる勢力の悉々を駆逐し、更に長驅して敵の咽喉に迫るに到りました。

此の祖国の緊急態勢に即応する為、我々学生も又、特に卒業期が早められ、卒業後は数日を出ずしてその大部はペンを銃に代へ、軍服に身を固めて祖国防衛の第一線に立たんとして居ります。我々は、現今の歴史的事態に直面し、祖国の為に生命を賭して奮闘し得る機会に恵まれましたことを、最上の名誉と感じて居ります。必ず全力を尽し、以つて此の光榮ある義務を立派に果さんことを期して居ります。

今日卒業するに際し、我々が本学の過去を顧みるに、今日こそは正に本学が青年期への発展に直面せる時であると思はれます。然して、今後本学がその伝統を保ち、益々独自の学風を振興する為には、本学在校学生諸君の自覚に基く行動に俟つこと大なるものがあります。即それは学生諸君の有せらるゝ頭脳力、健全なる思想及び熱情の集積の上具現されるものであります。

諸君は多数の同輩が鮮血を流し、病魔を克服して祖国の為に奮闘しつゝある時、安閑として学生と云ふ社会的特権意識の中に惑溺し、自己、生活手段以外の何等の意義も学生々活の中に認めぬならば、それは幾万の同輩の代表者としての地位を私し、

自己の利己心、虚栄心的手段として此れを濫用するもので、それは苟も社会的良心を有する現代青年の唾棄に値する態度であります。

かくの如き学生の社会に於ける前途には、勿論何等の光明も認められないのであります。

故に我々は、諸君が率先して明朗な健全な学風を紀尾井の森に発展されんことを希望するものであり、又諸君が固く団結し、青年の熱情を以て迫力ある学園の完成に努力されんことを切望するものであります。

かくすることは、単に本学の前途に光明を与へるに留まらず、実に諸君が学生として国家社会に負ふ義務を尽す所以であり、更に又それは諸君の将来の発展の為にも欠く可からざる要件であります。即ちかくの如き学生に諸君がなる事は、社会の最も要求する学生に成る事に他ならぬからであります。

然して此の道こそは、戦時下学生の進むべき道たる事、諸君は深く自覚せられたいであります。

我々も又、諸君の先輩たることを自覚して、戦線に、銃後に、全力を以て奮闘する覚悟であります。

今後我々は習得せる知識を益々啓発し、人格を陶冶し、祖国と人類とに対する愛と犠牲の精神を以て、之の革新の時代に処さんとするものであります。

我々は、我が民族の世界史的使命を自覚し、創造的知性を以て新しき世界へ突進せんと期して居ります。我々は、又確固たる日本精神を持った強健なる祖国の防人として皇国の発展の為に身命を捧げて

奮闘せんものと覚悟致して居ります。  
終りに臨み、我々は諸先生の御懇篤なる御指導に対し、繰返し深き感謝の意を表すると共に、我々卒業後も更に色々御指導承らんことを御願ひ致します。

又、在学生諸君は御健康に注意せられ、益々御勉学に勉められ、卒業の暁は、我々とともに社会に御活躍あらんことを祈るものであります。

昭和拾七年九月二十五日

卒業生代表 宗像 巖

#### （現代語訳）

本日卒業式に当たり、在学中、種々ご指導を戴きました本学諸先生に対し、衷心より感謝の意を表します。

この紀尾井の森に過去五ケ年間、我々が学生生活を続けている間に、世界の様相は急激な変転を見せ、遂に祖国は米英と交戦状態に入りましたが、我が精鋭無比の皇軍は向うところ敵なく、朝に不沈と称する敵の軍艦を叩き、夕に難攻不落と言われる敵の要塞を攻略し、開戦後数ヶ月にして大東亜のほぼ全域を解放し、この広大な地域から三百年にわたる敵の堅固たる勢力を悉く駆逐し、更に長駆して敵の咽喉に迫るに至りました。

この祖国の緊急事態に即応するため、我々学生も卒業年限が早められ、卒業後は数日を出ずしてその大部分はペンを銃に持ち代え、軍服に身を固めて祖国防衛の第一線に立つとしております。我々は現在の歴史的事態に直面し、祖国のために生命を賭けて奮闘し得る機会に恵まれましたことを、最上の名誉と感じております。必ず全力をもってこの光栄ある義務を立派に果そうと期しております。

卒業するに際し本学の過去を顧みますと、今日こそは正に本学が青年期へと発展を遂げる時であると思われまふ。そして、今後本学がその伝統を保ち、益々独自の学風を振興するためには、在校生諸君の自覚に俟つところが大きいのであります。すなわち、それは学生諸君の有する頭脳力、健全なる思想及び熱情の集積の上に具現されるものであります。

多数の同輩が鮮血を流し、病魔を克服して祖国のために

奮闘しつつある時、諸君が安閑として学生という社会的特権意識の中に溺れ、自己や生活手段以外の何等の意義も学生々活の中に認めなければ、幾万の同輩の代表者としての地位を忘れ、自己の利己心、虚栄心の手段としてそれを濫用するもので、社会的良心を持つはずの現代青年でありながら、唾棄されても仕方のない態度と言わねばなりません。かくの如き学生の社会的前途には、勿論何等の光明も認められないのであります。

ゆえに、我々は、諸君が率先して明朗健全な学風を紀尾井の森に発展させることを希望するものであり、また諸君が固く団結し、青年の熱情をもって迫力ある学園を完成させるべく努力することを切望するものであります。

そうすることは、単に本学の前途に光明を与えるだけでなく、実に諸君が学生として国家社会に負う義務を尽す道でもあり、さらにまたそれは諸君の将来の発展のためにも欠かせない要件であります。すなわち、このような学生に諸君がなる事は、社会の最も要求する学生に成る事に他ならないからであります。

そしてこの道こそが戦時下学生の進むべき道である事を、諸君には深く自覚していただきたい。我々もまた、諸君の先輩たることを自覚して、戦線に、銃後に、全力で奮闘する覚悟であります。

今後、我々は習得した知識を益々啓発し、人格を陶冶し、祖国と人類とに対する愛と犠牲の精神をもって、この革新の時代に処そうとするものであります。

我々は、我が民族の世界史的使命を自覚し、創造的知性をもって新しい世界へ突進せんと期しております。我々は、また確固たる日本精神を持った守り手として、皇国の発展のために身を捧げて奮闘する覚悟を有しております。終りに臨み、我々は諸先生のご懇篤なるご指導に対し、繰返し深き感謝の意を表するとともに、我々卒業後もさらに色々ご指導下さるようお願い申し上げます。

また、在学生諸君はご健康に注意され、益々ご勉学に励まれ、卒業の暁は、我々とともに社会にご活躍されることを祈るものであります。

昭和拾七年九月二十五日

卒業生代表 宗像 巖

(English Translation)

We would like to take this opportunity of the graduation ceremony to express our sincere gratitude to our teachers for their great advice and guidance.

During these five years when we were spending time as students here at Kioi-no-mori, the world's situation has changed drastically and our country has finally engaged in war against the US and the UK. Our unmatched Imperial Forces are invincible, beating self-proclaimed "unsinkable" battleships in the morning and destroying enemy fortresses said to be impregnable in the evening. It took only a few months since the start of the war for our forces to conquer almost all of the Great East Asian territories. They wholly expelled robust hostile forces that had ruled the expansive area for 300 years, and went further to "point a sword" at their throat.

To quickly address this emergency of our country, the graduation of us students has been accelerated, and just a few days after graduation, most of us are replacing the pen with the sword to get on the frontline of homeland defense in military gear. It is our greatest honor to have an opportunity to risk our lives for our country in the face of current historical circumstances.

We are determined to make an all-out effort to live up to this honorable obligation.

Looking back at the history of our school, I believe today is the time when the school is facing development into early adulthood.

In order for our school to maintain tradition and further promote its unique culture, the current students are urged to act based on self-awareness, which will only be built on your intelligence, sound thoughts, and passion.

If you just live idly, indulging in the privilege of being a student, and find nothing meaningful in your student life other than your own ego and livelihood while many of your peers are shedding blood and overcoming sickness to work hard for their country, that means you are exploiting your position as a representative of numerous peers for personal gain and vanity. Modern adolescents with social conscience should not take

such an odious attitude.

It is needless to say that such shameless students would see no bright future ahead in society.

So we hope that you will take the lead in developing a healthy, vibrant culture in Kioi-no-mori. We strongly wish that you will firmly work together with young enthusiasm to make up a vigorous school community. By so doing, you will not only provide a bright light for the future of the school, but also fulfill obligations as a student that are owed to the country and society. Furthermore, doing so is an essential requirement for your own development in the future. Becoming such a student is all about becoming a student most demanded by society.

I expect you to deeply understand this is exactly what wartime students have to do.

We are also prepared to devote our full strength in the battlefield and forefront with an awareness of our responsibility as seniors.

Going forward, we will navigate these advancing times by honing the knowledge learned, cultivating our characters, and showing the spirit of love and sacrifice to our homeland and humankind.

Our unwavering intention is to rush into a new world with an awareness of the global mission of Japanese people, using creative intelligence.

Also, as mighty guards of our country with an authentic Japanese spirit, we are determined to devote our lives to the development of the Japanese Empire.

Lastly, let us again express our deep gratefulness to our teachers for their kind and warm guidance. And we would like them to continue providing support even after we graduate.

We also wish the current students will care about their health, study even more diligently, and join us in society after graduation.

September 25, 1942

Graduate representative      Munakata Iwao